

# なんき 南葵音楽文庫記念出版のご案内

東洋の心と西洋音楽の  
運命の出会いがここにあります

仁坂吉伸(和歌山県知事)

書籍3点  
好評発売中

## 紀州徳川400年 南葵音楽文庫案内

和歌山県教育委員会 編

文化を極めて400年。紀州徳川家の文化への深い関わりと歴史をたどりながら、その精華たる南葵音楽文庫の成りたち、貴重資料をフルカラーで紹介。ベートーヴェンの自筆楽譜(原寸大複製)付き。

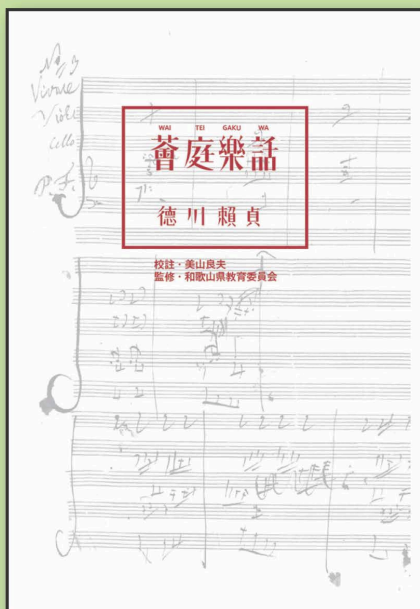
A4判オールカラー ■本文96ページ ■定価3300円(税込)  
中央公論新社刊



## わいていがくわ 蒼庭楽話 徳川頼貞 著

紀州徳川第16代当主にして南葵音楽文庫の生みの親・徳川頼貞侯(1892~1954)が、音楽への愛、ブッチーニやプロコフィエフら世界の音楽家たちとの交友、日本の音楽界への貢献を語った自伝。80年前、わずか50部のみ頒布された私家版を復刊。

四六判 ■本文384ページ ■定価3300円(税込)  
中央公論新社刊



## 喜多村進 著 徳川頼貞侯の横顔

田山花袋、島崎藤村に師事した文学者であり、南葵音楽図書館、和歌山県立図書館の司書もつとめた喜多村進(1888~1958)が、側近の目から頼貞侯の素顔を親しく綴る。和歌山県立博物館所蔵の未発表原稿を初出版。

四六判 ■口絵4ページ ■本文200ページ ■定価2200円(税込)  
中央公論新社刊



【問い合わせ先】  
和歌山県立図書館

〒641-0051  
和歌山県和歌山市西高松一丁目7番38号  
TEL:073-436-9500 (代表)  
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>

# 紀州徳川400年 南葵音楽文庫案内

## 和歌山づくり、始まる

初代の藩主、徳川頼宣が入城した1619年、「和歌山」はまだ若い名前でした。724年、聖武天皇に随行した歌人の山部赤人は「若の浦」と記し（『万葉集』）、やがて玉津島神社の祭神になぞらえて、平安時代には「和歌の浦」に。さらに4世紀を経て、紀州を平定した羽柴秀吉は、新たな築城の地である岡山を、「和歌の浦」に因み「和歌山」としました。それから34年、18歳の頼宣による和歌山づくりが始まります。



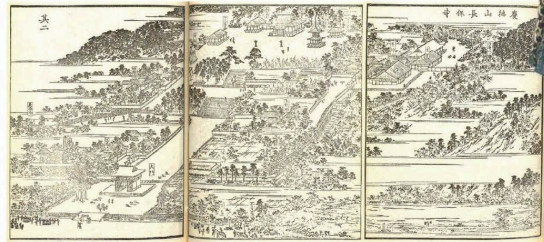
紀州徳川宮

**徳川頼宣肖像 長保寺蔵**  
徳川家康の十男である頼宣（1602-1671）は駿府城で父と共に幼少期を過ごし、紀州入国後はおよそ50年の長きにわたり紀伊国を治めた。



**「東照宮縁起絵巻」(紀州本)より「和歌祭」**  
住吉広通(知慶)筆 1646年 紀州東照宮蔵  
紀州東照宮は頼宣入城翌年の1620年起工、翌年竣工し遷宮。紀州転封前、駿府城の新産(当時は額符)は、家康一層忍にあわせ急ピッチで進められた日光東照宮建立にかかり、正産吉式にも参列した縁起を持っていた。頼宣は家康の三十回忌にあたり絵巻を作成、紀州東照宮に奉納した。この場面は紀州東照宮の春の祭礼である和歌祭で、おそらく1645年の祭礼を描いたものであろう。

**太刀 銘：安綱 附：糸巻太刀拵 紀州東照宮蔵 国指定重要文化財**  
頼宣は東照宮ができて、分与された家康ゆかりの品を奉納した。家康の五十回忌にあたる1665年には、家康が用いていた太刀を、鞘や拵を新たにつくり奉納、紀州徳川家の繁栄と武運が久しいことを願った。太刀は12世紀に活動した優れた刀工安綱による。



**長保寺「紀伊国名所図会」より**  
一条天皇の勅願により1000(長保2)年草創という古刹、いずれも14世紀にさかのぼる3棟の国宝建築がある。1666年、頼宣により紀州徳川家の菩提寺を請われた。境内には歴代藩主らの墓所が並び、紀州徳川家所縁の文化財を多数伝えている。

8 紀州徳川 文化を極めて400年

## 第1章「紀州徳川 文化を極めて400年」より

和歌山県立図書館(本館)「南葵音楽文庫閲覧室」において主要な所蔵品を公開しています。詳細はオモテに記載の図書館ホームページでご確認ください。

和歌山県立図書館(本館)

【開館時間】

火～金：午前9時～午後7時  
土日祝：午前9時～午後6時

【休館日】

月曜日、第2木曜日ほか

- 第1章「紀州徳川 文化を極めて400年」
- 第2章「『南葵』の誕生」
- 第3章「南葵楽堂への道」
- 第4章「南葵音楽図書館～理想をもとめて」
- 第5章「南葵音楽文庫の至宝」
- 第6章「南葵音楽文庫閲覧室と書庫めぐり」

第6章「南葵音楽文庫閲覧室と書庫めぐり」より

### オペラを日本に

オペラの世界への憧れを胸に留学した徳川頼宣は、各地で体験を重ね、そのたびに楽譜を購入、帰国後も資料を広範囲にわたり蒐集し公開、日本のオペラ上演の下支えにもつながりました。



リムスキー＝コルサコフ《5月の夜》(左)と《金輪》(右)ヴォーカル・スコア表紙

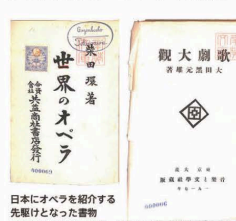


フォール《ダラー・プリンセス》

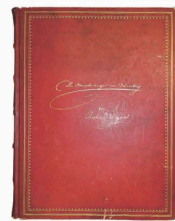
サリヴァン(H.M.S. バイナフォア)



ボルボラ《ミトリダーテ》(1730年、ナポリ)アリア集筆写楽譜



日本にオペラを紹介する先駆けとなった書物。柴田曜はのちの三浦曜。『歌劇大観』は著者からの贈呈本。



ワーグナー(ニルンベルクのマイスタージングラー)自筆スコアのファクシミリ版(限定出版)



「ワーグナーのカリチュア集」



「ピアノ独奏のためのロッシーニ・オペラ」

挿絵入りの解説、台本、研究書、編曲など、20世紀前半のオペラ理解、受容を反映した資料類を所蔵。

86 南葵音楽文庫閲覧室と書庫めぐり